

一般社団法人全日本機密文書裁断協会

平成 28 年度事業報告

平成28年度6月に「全日本機密文書裁断協会」と法人名を改めました。この新たな始まりの1年目とも位置づけられる今年度は、当協会の目的である文書からの機密漏えい防止と再資源化への取り組みの必要性を訴求すべく、広報活動を重点事業項目と設定し、展示会出展などを通して、市場へ裁断サービスの普及活動および、会の知名度向上に取り組みました。広報活動については単年では評価が難しいため、平成29年度も重点項目として継続的な取り組みを行います。

また、組織および会員が継続的に発展して行くために、機密文書裁断抹消処理士認証制度やブロック活動助成金制度を開始しました。協会内の教育制度の充実、そして会員間の連携強化を進めることで当協会の基盤構築を図りました。

【会員の異動数】

区分	会員		増減
	平成 28 年 4 月時	平成 29 年 4 月現在	
正会員	73 社	71 社	- 2 社
賛助会員	5 社	4 社	- 1 社
合計	78 社	75 社	- 3 社

賛助会員から正会員に移行企業：東北イートップ株式会社（平成 28 年 10 月）

退会企業：＜正会員＞エバークリーン株式会社（平成 28 年 9 月末）

有限会社センシヨー（平成 28 年 9 月末）

島田環境保全センター（平成 29 年 3 月末）

1. 社団法人名の改定

事業内容の明確化、閉塞感の打破、知名度向上等を目的として、昨年6月より社団法人名を「パピルスネットワーク全国会」から「全日本機密文書裁断協会」へ変更しました。

2. 裁断業務の品質対策

(1) 定例研修勉強会の実施

平成28年11月18日(金)にTKP 東京駅前カンファレンスセンター(東京都中央区)にて「一般社団法人全日本機密文書裁断協会 研修勉強会」を開催しました。また、翌週25日(金)には東京会場での内容のフォローアップ研修をナカバヤシ大阪支社(大阪市城東区)で開催しました。勉強会では今年度より当協会の内部統制として開始しました機密文書裁断抹消処理士認定制度の研修プログラムを含む3つの講演を実施し、機密文書の裁断事業者としての在り方や知っておくべき知識について学びました。勉強会には東京会場約65名、大阪会場約35名の会員が参加しました。勉強会の様子は会のスキルアップへの取り組みとしてホームページに公開しています。

(2) 表彰制度

当会員より推薦された下記会員企業を、会の発展に寄与した企業および、社会貢献活動に取り組んでいる企業であると理事会で認め表彰します。

【表彰対象者】

表彰対象者名(企業名)	表彰理由
株式会社カネシロ	当会のパピルスネットワーク時代に副会長を長年努められ、現在も理事として協会の発展に寄与されている。

(3) 機密文書裁断抹消処理士認証制度の制度開始

適性に業務にあたる実務者を定め、情報抹消を依頼する方々の信頼を得られる業務を行うための内部統制として、平成28年10月に機密文書裁断抹消処理士認証制度の運営を開始しました。当協会の「機密文書裁断サービス業務品質向上リサイクルマニュアル」をベースに教育を実施し、制度開始初年度は457名を機密文書抹消処理士として認定しました。また、より一層の教育内容の整備を図るため、研修勉強会での機密文書抹消処理士をテーマとした講演実施や、「機密文書裁断サービス業務品質向上リサイクルマニュアル」を基にした「機密文書裁断サービス業務品質向上の手引き」の発行準備を進めています。

【認証制度推進委員会開催日程】

- 平成28年7月13日 (株) ベル・テール
- 平成28年9月28日 (株) 山本清掃
- 平成28年11月18日 TKP 東京駅前カンファレンスセンター
- 平成28年12月14日 (株) 福井センイ倉庫

(4) 会員企業間の連携強化

これまで以上に会員企業間連携を強めるため、ブロック活動助成金制度を開始しました。本制度を利用し、各地でブロック会議等が頻繁に開催され、会員企業間の情報交換や今後の活動についての意見集約が行われました。今後も文書裁断サービスの全国組織として、その連携・交流機能を最大限に活用し、サービスの品質向上と、本会更には業界の活性化に結び付けるための活動を展開していきます。

3. 広報宣伝事業

(1) 展示会出展

裁断サービスの普及活動並びに会の知名度アップを目的に、平成28年7月13~15日に東京ビックサイト、10月5~7日にインテックス大阪で開催されました「オフィスセキュリティ EXPO」に出展しました。「機密文書の機密抹消とリサイクル」をテーマに、事業者様方へ機密を守りながら環境にも配慮できる資源循環型社会の現代に見合ったサービスをご紹介しました。たくさんの方にご来場頂き、機密保護および紙リサイクルの必要性と裁断サービスの便利さを伝えることが出来ました。

(2) 新協会名の周知活動

新法人名を知ってもらうための広報活動の一貫として、協会ホームページをスマートフォンにも対応したサイトへリニューアルしました。また、裁断車や回収車に貼付する協会ステッカーを作成し、協会名の周知を図りました。

(3) 業界紙への情報開示と取材協力

活動広報のために、業界紙などの報道機関に対して、総会や勉強会等の情報開示と取材協力を実施しました。

【掲載記事】

発行物・記事内容	掲載号	発刊元
週刊循環経済新聞 「全日本機密文書裁断協会に名称変更 パピルスネットワーク全国会 新たに伊藤会長が就任」	2016年 6月20日号	日報ビジネス株式会社
古紙ジャーナル 「パピルスネットワークが一般社団法人 全日本機密文書裁断協会に名称変更」	2016年 6月20日号	有限会社古紙ジャーナル社
環境新聞 「全日本機密文書裁断協会会長 樋口敦郎商店社長 伊藤武巳氏に聞く」	2016年 11月16日号	株式会社環境新聞社
週刊循環経済新聞 「全日本機密文書裁断協会 委託先監督への 対応を 専門家としての意識必要」	2016年 11月28日号	日報ビジネス株式会社
古紙ジャーナル 「明和製紙原料 量よりクオリティの充実を カネシロ 地方発、全国区の業務受注へ 全日本機密文書裁断協会 講演録より」	2016年 12月5日号	有限会社古紙ジャーナル社

4. 環境保護活動の推進・貢献活動の実施

(1) カーボンオフセットの継続実施

より環境に配慮した事業活動を目指し、任意団体から継続してカーボンオフセットへの取り組みを行いました。なお、当年度途中より、文書裁断量に応じて購入していましたオフセット権を年間一定量の購入に変更しました。

平成28年度は 約690tのCO2をオフセットしました。

【協力プロジェクト】

- ・岩手県沿岸地域における震災がれき再資源化による復興プロジェクト
- ・石膏工場における工業炉の更新
- ・家庭における太陽光発電設備の導入によるCO2排出削減プロジェクト

(2) 文書リサイクルの促進

平成28年度の重点事業項目である広報活動を通して、当協会本来の目的でもある紙の再資源化の必要性を発信しました。今後も事業を適正に推進することで、紙資源のリサイクルを促進し循環形社会の実現に寄与して行きます。